

研究機関で雇用する特別研究員-PD等の育成方針

オムロン サイニックス株式会社のPD研究員の育成方針は以下の通りです。

1. メンターシップ制度の導入:

全てのPD研究員には、彼らの研究専門分野に関する一対一のメンターを割り当てます。メンターは研究活動を指導し、キャリアの進行についてのアドバイスをを行います。

2. 定期的な研修とセミナーの開催:

年に数回、研修やセミナーを開催します。多様な研究分野における最新状況へのキャッチアップや基礎的な理解の涵養を促すのみならず、研究倫理やハラスメント防止、働き方に対する定期的な学習機会を提供します。

3. 研究環境の充実:

最新の研究機材やソフトウェアを提供し、高品質な研究が可能な環境を維持します。また、研究者が個々の研究目標に最適なりソースを利用できるよう、定期的な評価と調整を行います。

4. 多様性と包括性の推進:

当社では全ての研究員に対して、性別、国籍、文化的背景に関わらず公平で平等な機会を提供することを目指します。性別によらず活躍できる環境を提供するため、ハラスメント防止研修を実施し、多用な休暇制度を整備します。

また、異なる国籍や文化的背景を持つ研究員に対しても、言語や文化のバリアを減らすためのサポートを行います。これには、言語学習支援、相互理解のための文化交流イベントなどが含まれます。

5. 外部とのネットワーキングの支援:

国内外の学会への参加支援や、他の研究機関とのコラボレーションを促進します。既に多数の研究プロジェクトや共同研究の実績を有しており、今後も研究者が自分たちの研究成果を広く共有し、新たな視点やアイデアを得る機会を持続します。

以上の取り組みを通じて、我々はPD研究員が自身の研究におけるスキルと専門知識を拡大し、さらに次世代のリーダーとして成長するためのサポートを提供します。